

馬車
五号

乙亥六月廿二日

田崎秀親行刑ノ義御届

秋田縣貫屬士族田崎秀親義獨逸
國領事勤方アアハ氏ヲ及殺害候
一件可刑ノ義九月廿六日午前第
九時函館裁判所ニ於テ申渡ノ上
當使支廳ハ該犯引渡候ニ付同日
午前十時囚獄場構内ニ於テ斬罪
行刑相濟候且獨逸國公使ヨリ兼
テ外務省ハ申立有之趣ヲ以テ同

⑬
六十二号

冊
石
史

國領事並來噓兩國領事未視致函館支廳ヨリ申越候條此段清届申上候也

明治七年十月九日 開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

乙未第六十三号

工部省へ地所引渡、義御届

當使管下渡島國福嶋郡福島村、内地所三拾六坪海底電線陸揚、為官用地トシテ工部省へ可引渡旨先般御達相成居候處此程引渡相濟候段函館支廳ヨリ申越候條此段御届申上候也

明治七年十月十四日 開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

⑩ 六十三号

用石使